

株主のみなさまへ

第55期

事業活動のご報告

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)



岩塚製菓

「お米」のおいしさ創造企業——
岩塚製菓株式会社

おかげさまで60周年

60th
Anniversary



代表取締役社長

榎 春 夫

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成19年7月、当社は創業60周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆様のおかげと心より感謝いたしております。

第55期は、新規需要層の発掘と育成ならびにIPS（岩塚プロダクションシステム）による収益力の強化に取り組んでまいりました。また、品質第一主義のもと、お客様の信頼に応えるべく確かな品質と鮮度の追求に努めてまいりました。しかしながら、原油価格の高騰を受けて、燃料費や包装材料費が大幅に増加し、当期は1億21百万円（連結）の純損失となりました。

このような状況の中、当社では次の60年に向けて、永続的に発展し続ける企業であるために、グループの総力を結集して、平成20年度をスタートとする3カ年の中期経営計画「-NEXT60-米・技・心の継承と進化」を策定いたしました。

この「NEXT60」では、中長期展望の第一ステップとして、「米・技・心」を事業計画の柱として全事業の再構築を行い、お客様との接点の拡大による新しい成長機会の創出に経営資源を集中してまいります。成熟期を迎えている米菓業界において、お客様の多様化するニーズや食への関心を的確に捉え、新たな成長軌道の確立に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

おいしさでNo.1でありたい、
新鮮さでNo.1でありたい、
おいしさにこだわる私たち自身がNo.1でありたい。
私たちは、世界中の人々に
おいしさの笑顔をお届けしてまいります。



行動規範

- 1 安全で良品質な米菓を消費者に提供します。
- 2 顧客の満足と安心が得られるように最大限の努力をします。
- 3 法令を遵守し、社会倫理に適合した企業活動に努めます。
- 4 環境問題に積極的、自主的に取り組みます。
- 5 良き「企業市民」として積極的に社会貢献活動を行います。
- 6 安全で働きやすい環境の確保に努めます。

事業の概況

当社は、成熟期を迎えた米菓業界において、新たな顧客層の発掘と育成を図るとともに、IPSの展開による利益体質の強化に取り組みました。また、食品の安全性に対するお客様の信頼に応えるため、さらなる品質向上に努めてまいりました。

営業活動につきましては、新規需要層を発掘・育成するため、米菓需要の少ない20～30歳代の主婦層を対象顧客として特定し、取り組んでまいりました。重点商品として、「お子様せんべい」に経営資源を集中的に投入いたしました。「お子様せんべい」は消化吸収がよく、アレルギーや塩分を減らしているため、お子様にとって食べやすく安全なおせんべいとして、40年余り愛され続けている商品です。販売施策としまして、インターネットの普及と利用端末の多様化を受けて、新規に開設いたしましたお客様とのコミュニケーションサイト「岩塚せんべい村のまいにち」の展開や、「お子様せんべい」「がんばれ！野菜家族」の購入者を対象とした消費者キャンペーン「おやつケースプレゼント」を実施いたしました。キャンペーンでは、予想を超える延べ6万人のお客様からのご応募があり、売り上げの拡大に寄与いたしました。

また、当社のトップ商品「岩塚の黒豆せんべい」に続き、「新潟ひとつまみ海老黒胡椒」がお客様からの高いご支持をいただき大幅に伸長いたしました。本年2月には「新潟ひとつまみ海老マヨネーズ」を発売し、新潟ひとつまみ商品のラインナップの充実を図りました。

売上高につきましては、競争が激化する市場におい

て、将来への家計不安に起因する消費者の低価格志向と慎重な購買姿勢により、大幅な増収には至らなかったものの、前連結会計年度比0.5%増の189億82百万円となりました。

利益面につきましては、大幅なラインの再編成による賃金生産性の向上をはじめとする原価低減に努めてまいりました。また、新商品開発体系の構築を行い、新商品開発までの期間を短縮いたしました。これにより、変動する市場のニーズに素早く対応した商品開発が可能となりました。

しかしながら、積極的な販売施策による販売促進費の増加や、原油価格の高騰に伴う燃料費や包装材料費、あるいは原材料費の増加などが大きく影響し、営業利益33百万円、経常利益2億41百万円、当期純損失93百万円という結果となりました。なお、原油価格高騰などの経済情勢を受けて、平成20年1月より一部商品の価格改定を実施いたしました。

子会社につきましては、株式会社新潟味のれん本舗が創立20周年を迎えました。お客様感謝イベント「輝き☆味来フェスタ」を開催し、多くの方にお越しいただきました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は203億51百万円（前連結会計年度比0.4%増）、営業利益は31百万円（前連結会計年度比93.0%減）、経常利益は2億26百万円（前連結会計年度比63.9%減）、当期純損失は1億21百万円（前連結会計年度は3億29百万円の純利益）となりました。

ISO14001の認証範囲を拡大 地球環境に配慮した事業所



平成20年2月、沢下条工場にて取得しているISO14001の認証範囲が、本社、飯塚工場、中沢工場、長岡工場、千歳工場、R&D・Mセンターへと拡大されました。当社では、「チーム・マイナス6%」への参加とあわせて、地球環境への負荷軽減に取り組んでいます。

財務ハイライト (連結)

区 分	単位	第53期 2006年3月期	第54期 2007年3月期	第55期 2008年3月期
売 上 高	百万円	19,726	20,268	20,351
経 常 利 益	百万円	476	627	226
当 期 純 利 益	百万円	240	329	△ 121
総 資 産	百万円	23,148	29,035	37,870
純 資 産	百万円	13,683	16,507	21,825
1株当たり当期純利益	円	38.92	55.81	△ 21.58
1株当たり純資産額	円	2,306.82	2,926.58	3,872.56

■売上高



■経常利益



■当期純利益



■総資産



■純資産



■1株当たり純資産額



トピックス

中期経営計画

品質第一主義 「安全」「安心」「安定」の確保

「米」—選び抜かれた一粒一粒のお米

お客様に安心して、おいしいおせんべいを食べていただくために、厳格に定めた独自の品質基準に基づき、契約栽培をはじめとする原材料の調達を行っています。創業以来変わらず受け継がれる良質な原材料を使用する姿勢を崩すことなく、今後は、原材料の調達をグローバルの視野で見つめ、遺伝子から稲作までを通して、岩塚ブランドとしての新しい「米づくり」に挑戦していきます。

— NEXT60 —

「お米」のおいしさ創造企業

～米・技・心の継承と進化～

技術の伝承と革新

「技」—丹精込めて焼き上げる技

創業以来、真摯な作業を積み重ねて磨いてきた職人の技で生み出された米菓は、お客様へおいしさの笑顔をお届けしています。米菓製造技術を次世代へ継承していくため、R&D・Mセンターに設置した「ものづくり道場」を本格的に稼働いたしました。伝統の技と新しい商品の開発を通じて、お客様との多様な接点づくりを展開していきます。

人間尊重・社会貢献とお客様の笑顔

「心」—つくり手の真心とお客様の笑顔

食生活が大きく変化した現代において、おいしさ・価値の基準も多様化しています。成熟期を迎えている米菓市場において、お客様の需要を捉え、真心込めて生み出した商品をお届けするため、確かなマーケティングによるブランド基盤の再構築と新規チャネルの開拓による、グループ企業全体としてのシナジー効果を高めていきます。「『お米』のおいしさ創造企業」としてお客様においしさの笑顔をお届けします。

戦略課題

- ①おいしさの感動をお届けするために、お米のおいしさを創造する。
- ②「安全」「安心」「安定」した品質保証体制を構築する。
- ③「安心」「安全」「安定」した材料を調達する。
- ④事業環境の変化に対応するため、既存事業及び新規事業のブランドを確立する。
- ⑤岩塚グループの維持発展のため、人材の確保、育成をする体制を構築する。
- ⑥働きたい、働き続けたいと思える企業にするために、従業員満足度を高める。
- ⑦岩塚グループの維持発展のため、IPSの全社展開をする。
- ⑧生産性向上のため、自動化、省人化をする。
- ⑨企業の社会的責任を果たす。
- ⑩地球にやさしい企業になるため、環境問題へ配慮する。

日付が見やすくなりました

当社では、米菓の命は「鮮度」であるとの思いから、以前よりパッケージへの製造年月日の記載を自主的に行ってきました。

食品の安全が問われている昨今、製造メーカーとしての責任を果たすため、より明確にお客様へ製造年月日が伝わるよう、従来の裏面表示から表面表示へと、順次切替を行っています。



変更前：裏面



変更後：表面

商品案内



黒まめたっぷり
「岩塚の黒豆せんべい」



もちもち食感
「新潟ぬれおかき」



しっとりやわらか食感
「新潟ぬれせんべい」



スパイシーな味わい
「新潟ひとつまみ
海老黒胡椒」



リングセラー商品
「味しらべ」



上品な甘さと口あたり
「きなこ餅」

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	4,557,666	4,626,010
固定資産	33,312,761	24,409,166
有形固定資産	7,635,251	8,004,944
無形固定資産	52,331	53,817
投資その他の資産	25,625,177	16,350,404
資産合計	37,870,427	29,035,177

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	7,062,594	5,177,072
固定負債	8,982,548	7,350,595
負債合計	16,045,142	12,527,668
(純資産の部)		
株主資本	7,907,665	8,113,745
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	5,029,559	5,235,395
自己株式	△ 615,893	△ 615,649
評価・換算差額等	13,881,966	8,353,543
その他有価証券評価差額金	13,859,748	8,334,677
為替換算調整勘定	22,217	18,866
少数株主持分	35,652	40,220
純資産合計	21,825,285	16,507,509
負債純資産合計	37,870,427	29,035,177

連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで
売上高	20,351,497	20,268,260
売上原価	13,377,475	13,201,318
売上総利益	6,974,022	7,066,941
販売費及び一般管理費	6,942,311	6,611,568
営業利益	31,710	455,372
営業外収益	254,288	237,198
営業外費用	59,501	64,817
経常利益	226,498	627,754
特別利益	37,983	73,796
特別損失	372,367	107,390
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△ 107,885	594,160
法人税、住民税及び事業税	1,670,245	289,370
法人税等調整額	△ 1,651,757	△ 20,773
少数株主損失	△ 4,939	△ 3,444
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 121,433	329,008

流動資産 45億57百万円 (前期比68百万円減)

- 受取手形及び売掛金：30億27百万円 (前期比1億82百万円減)

固定資産 333億12百万円 (89億3百万円増)

- 投資有価証券：254億14百万円 (前期比92億70百万円増)
Want Want China Holdings Ltd (旺旺集団) 株式の時価評価による

流動負債 70億62百万円 (前期比18億85百万円増)

- 短期借入金：27億円 (前期比4億円増)
- 未払法人税等：16億83百万円 (前期比14億80百万円増)

固定負債 89億82百万円 (前期比16億31百万円増)

- 繰延税金負債：73億75百万円 (前期比21億82百万円増)
Want Want China Holdings Ltd (旺旺集団) 株式の時価評価による

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	871,934	1,041,833
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 568,688	△ 1,385,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 241,132	329,026
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4,304	△ 19,298
現金及び現金同等物の増減額	57,808	△ 33,655
現金及び現金同等物の期首残高	641,193	674,849
現金及び現金同等物の期末残高	699,001	641,193

営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・減価償却費および売上債権の回収等により、8億71百万円の収入となりました。
- ・前期比1億69百万円の減少については、税金等調整前当期純損失の計上によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・有形固定資産の取得による支出等により、5億68百万円の収入となりました。
- ・前期比8億16百万円の減少については、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・長期借入金の返済や配当金の支払および短期借入金の純増加額の減少等により、前期3億29百万円の収入から、2億41百万円の使用となりました。

連結株主資本等変動計算書(要旨)

当期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主分	純資産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日 残高	1,634,750	1,859,250	5,235,395	△ 615,649	8,113,745	8,334,677	18,866	8,353,543	40,220	16,507,509
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 84,401		△ 84,401					△ 84,401
当期純損失			△ 121,433		△ 121,433					△ 121,433
自己株式の取得				△ 244	△ 244					△ 244
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						5,525,071	3,351	5,528,422	△ 4,567	5,523,855
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 205,835	△ 244	△ 206,080	5,525,071	3,351	5,528,422	△ 4,567	5,317,775
平成20年3月31日 残高	1,634,750	1,859,250	5,029,559	△ 615,893	7,907,665	13,859,748	22,217	13,881,966	35,652	21,825,285

個別財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	3,837,779	3,935,929
固定資産	33,387,628	24,450,287
資産合計	37,225,407	28,386,216
(負債の部)		
流動負債	6,941,930	5,064,862
固定負債	8,835,604	7,220,853
負債合計	15,777,535	12,285,716
(純資産の部)		
株主資本	7,588,123	7,765,823
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	4,710,016	4,887,472
自己株式	△ 615,893	△ 615,649
評価・換算差額等	13,859,748	8,334,677
その他有価証券評価差額金	13,859,748	8,334,677
純資産合計	21,447,871	16,100,500
負債純資産合計	37,225,407	28,386,216

損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで
売上高	18,982,383	18,894,902
売上原価	13,068,444	12,876,298
売上総利益	5,913,939	6,018,604
販売費及び一般管理費	5,880,060	5,575,536
営業利益	33,878	443,068
営業外収益	259,859	243,049
営業外費用	51,770	46,948
経常利益	241,968	639,169
特別利益	34,453	73,677
特別損失	371,664	145,747
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△95,243	567,100
法人税、住民税及び事業税	1,648,654	266,508
法人税等調整額	△1,650,843	△ 12,959
当期純利益又は当期純損失(△)	△93,054	313,550

株主資本等変動計算書(要旨)

当期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計
	資本金	資本準備金	資本剰余金	利益剰余金	利益剰余金	利益剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	純資産計
平成19年3月31日 残高	1,634,750	1,859,250	1,859,250	101,437	4,435,000	351,035	4,887,472	△615,649	7,765,823	8,334,677	8,334,677	16,100,500
事業年度中の変動額												
別途積立金の積立					250,000	△ 250,000	—	—	—			—
剰余金の配当						△ 84,401	△ 84,401		△ 84,401			△ 84,401
当期純損失						△ 93,054	△ 93,054		△ 93,054			△ 93,054
自己株式の取得								△ 244	△ 244			△ 244
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										5,525,071	5,525,071	5,525,071
事業年度中の変動額合計					250,000	△ 427,456	△ 177,456	△ 244	△ 177,700	5,525,071	5,525,071	5,347,371
平成20年3月31日 残高	1,634,750	1,859,250	1,859,250	101,437	4,685,000	△ 76,421	4,710,016	△ 615,893	7,588,123	13,859,748	13,859,748	21,447,871

子会社・関連会社

■株式会社瑞花



米にこだわり、餅を杵で搗いた、手作りに近い製法の高級米菓を販売しております。



■株式会社越後抄



法人向けの米菓販売を行っております。



■株式会社新潟味のれん本舗



つくりたてのおせんべい・おかきの風味豊かなおいしさを工場直送でお届けする通信販売を行っております。

おせんべい・おかきの通信販売
新潟味のれん本舗

■瀋陽岩旺米粉製造有限公司

原料供給としての米粉製造を行っております。

■旺旺・ジャパン株式会社

食料品の輸出入事業を行っております。

会社の概要 (平成20年3月31日現在)

商号	岩塚製菓株式会社
英文名称	IWATSUKA CONFECTIONERY CO., LTD.
代表者	代表取締役社長 榎 春夫
主要な事業内容	米菓の製造販売
本社所在地	新潟県長岡市浦9750番地
設立	昭和29年4月27日
資本金	16億3,475万円
従業員数	816名 他に、準社員・嘱託及びパートタイマーが162名おります。
主要な事業所	本社、R&D・Mセンター 工場：飯塚、沢下条（第一・第二・第三・第四）、中沢、千歳、長岡 支店：広域営業課・札幌・仙台・新潟・東京東・東京西・名古屋・大阪・西日本

取締役及び監査役 (平成20年6月26日現在)

代表取締役社長	榎 春夫
取締役	中 静 幸 治
取締役	丹 羽 文 夫
取締役	郷 芳 夫
取締役	阿 部 雅 栄
常勤監査役	関 春 夫
監査役	平 石 毅 一
監査役	佐 野 榮 日 出

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日(中間配当を行う場合)

株式事務取扱場所

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

(お問合せ先) 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社
証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

同取次所 みずほ信託銀行株式会社
全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店及び全国各支店

上場取引所 ジャスダック証券取引所

証券コード 2221

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

<http://www.iwatsukaseika.co.jp/>

株式データ (平成20年3月31日現在)

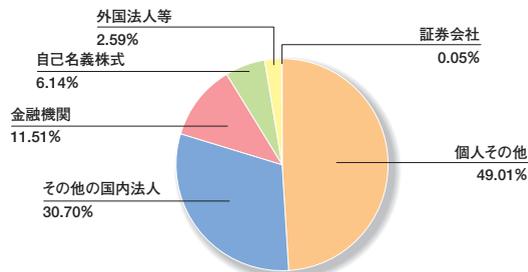
発行可能株式総数	23,980,000株
発行済株式の総数	5,995,000株
株主数	4,446名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)
株式会社紀文食品	305,000
岩塚製菓共栄会	286,000
株式会社北越銀行	280,000
平石毅一	264,346
榎政男	235,805
株式会社第四銀行	200,000
岩塚製菓従業員持株会	169,000
榎キク	162,619
株式会社魚沼運輸	115,000
三瀧商事株式会社	105,500

注) 上記「大株主(上位10名)」には、当社所有の自己株式368,329株を含めておりません。

所有者別の構成比(株式数比率)



株主優待制度

当社では、日頃のご厚情に感謝し、当社株式を100株以上お持ちの株主様に当社製品を贈呈いたします。9月30日現在の株主様には12月に、3月31日現在の株主様には6月に発送いたします。

100株以上の株主様	1,000円相当
500株以上の株主様	2,000円相当
1,000株以上の株主様	5,000円相当
* 2,000株以上の株主様	5,000円相当

* 2,000株以上お持ちの9月30日現在の株主様には翌年3月、3月31日現在の株主様には9月にも贈呈いたします。

